

神道の友

『成功する人の考え方』

管長 菊池重敏



ジェリー・ミンチントンというアメリカの自己啓発作家は、「自尊心を高め自分の価値を確信する事が、人生における成功や幸福に直結する」と言っています。自尊心は、他人の干渉を受けず、自分の品位を保とうとする心理や態度の事を意味しています。

「自尊心」や「信念」がどのように形成されるか、興味深い見解を述べています。

自尊心や信念が形作られる過程では、家族関係がとても大切だということです。

子どもの頃に世話をしてくれた家族は、世の中への最初の道案内人です。その影響はとて大きく、子どもは家族からの言葉をそのまま受け入れます。さらに、家族の子どもに対する行動は、子どもの考え方により強い影響を与えているというのです。つまり、あなたの自尊心や信念は実はあなたの自身のものでなく、最も強く影響を与えた周囲の人たちの信念を反映したものに過ぎないという事なのです。

でも、周囲の影響で間違った信念を植えつけられていく可能性が有ります。自分自身では、正しい信念なのか、間違った信念なのか分からないかも知れません。その信念を持ち続ける事に慣れ親しんで来たから、そう感じていくに過ぎないからです。もし「自分は間違った信念など抱いていない」と信じるなら、それ自体が間違った信念だ、と言っています。もしも信念が間違っているなら、それは捨てなければいけません。次のような三つの信念は、間違った可能性が有ると言えます。

・他人に敵意を感じさせる信念。

自分は良いと思っても、結果として他人に迷惑を掛けていたり、周囲の人があなたに敵意を持ってしまうような信念は、正しいもの

盛夏号
編集・発行
〒106-0031
東京都港区西麻布
4丁目9番2号
宗教法人「神道大教」本局
神道の友編集部
TEL 03-3407-0524
題字 管長 菊池重敏 書

明治天皇御製

ほどほどに身をも心もつくすこそ

人とうまれしつとめなりけれ

いかならむ時にあふとも人はみな

まことの道をふめとをしへよ

とは言えません。
・他人より優れているという信念。

優越感に裏打ちされた信念も良く有りません。
・他人よりも劣っているという信念。

劣等感にもとづく信念もまた間違っているのです。

その信念が真に正しいものかどうか検証してみましよう。それが人生を成功へと導く秘訣かも知れません。

また、人生の成功を求めるなら、「怒り」についても正しく理解しておく必要があると言っています。

「私たちは、自分の怒りの原因が周囲の人や出来事に有ると考えるが、実際はそうでは無い。周囲の人や出来事が自分の思い通りになるべきだと思っただけで、自分を怒らせているだけなのだ。」

こうした怒りは「不健全な怒り」で有り、次の三つの

間違った信念が根底に有るからだと言います。

・人生はうまくいかなければ困る。

・気に入らない事が有れば腹を立てるのは当然だ。

・いやな事に耐えなければ成らない事は不合理だ。

「不健全な怒り」はあなたを間違った行動に走らせ、さまざま悪い影響を相手にも周囲にも与える事に成ってしまいます。

ですから、自分の持っている「怒り」の感情をきちんと検証しておく事が大切です。そして、物事というものは自分の思い通りにはいかないものだど悟り、「不健全な怒り」を抑える方法を知っておく事も必要です。ミンチントン氏はこう教えてくれています。

「人生は思い通りに成るとは限らない。どうにも成らない事に怒っても仕方が無い」

令和四年春季大祭を斎行

新型コロナウイルス感染拡大の減少傾向が見える中ではありましたが、十分に感染防止対策をとり、大祭前日の二十日午前十時より全国から祭員及び東京婦人会有志の方々が弥栄殿広間に集合。菊池管長並びに長元総監より、奉仕の御礼の御挨拶がされ、夫々諸準備に取り掛かりました。

例年通り皆、役割分担し着々と作業を進め、境内・神殿の装い更に神饌・供物も整い無事に準備を終えました。午後四時より大祭習礼を行い、次第に則り所役の確認、また禮典長より祭式所作の指導を戴き、本番さながらの緊張感の中滞りなく終えました。

翌日二十一日、穏やかな春の陽気に恵まれる中、神道大寺院春季大祭が全国の教信徒参集のもと、盛大且つ厳粛に斎行されました。

齋主以下祭員が修祓の儀を仕え、午前十時齋主・祭員以下御霊殿に参進、一同着座の後長元総監の開式の辞にて、霊殿祭が厳かに始まりました。齋主二拝、献饌・幣帛供進がされ、霊殿祭・祥月命日祭々詞が齋主により奏上され、慰霊の舞が奉納されました。次に婦人会諸師の先導にて神教歌を一同奉唱し、齋主、御遺族・参列者と順次玉串を奉奠。先覚諸霊の御遺徳を偲び、御霊の安寧と御守護を祈念し霊殿祭を終えました。



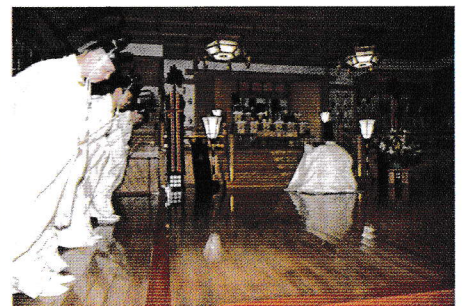
修祓の儀



霊殿祭奉仕の祭員一同



慰霊の巫女舞



齋主祭詞奏上

参拝者・奉納者芳名録

(敬称略)

幣帛料御奉納者

【北海道】札幌八幡宮菊池重敏 菊池重忠 函館敬神大教会 工藤隆三 工藤賀子 工藤超千 工藤一美 日天講社石川澄子 原田貴史 村木牧子 地主屏 中林鉄夫

【青森県】石神社社小野光廣 節田志ノ武 郡川洋子 横濱栄子 小笠原達雄 小野勢節子 黒田一二三

【宮城県】あかつき仙台分教会堀川秀夫 桂田安子 桂田啓生 桂田雅子 桂田悟

【山形県】三山宮宮田博正 宮田榮 出雲太神社菊地元宏 菊地康倫 岩倉金剛院小教会 八幡悟生 清光院小教会湯上弘通 多田悦子 山川信利 清光院小教会信徒一同

【福島県】永山和洋

【栃木県】御嶽永野中教会永澤忠彦 永澤正義 歳徳神社板倉進 板倉百合子 板倉聖子 板倉信之助 高藤神社坪山欣也 坪山仁美 坪山雅則 鈴木一男 福富信男 福田春光 出雲大神像観中教会佐藤正美 飯塚まゆみ

【埼玉県】天神大教会富田信太郎 木曾御嶽川越大教会山崎真理 伊藤み代 雅楽天神会 玉野御嶽神社 深田神社

深田佳聖 和田直樹 鈴木明子 西山昌男 渡辺かず子 國井高子 岩上直樹 岸和子

【千葉県】大和八幡神社橋村美樹 天明道心小教会宮崎日出男 宮崎初枝 宮崎利幸 宮崎貞幸 石川昌幸 菅野一男 鈴木裕基子 田代玲子 溝口孝恵 安藤敏子 市島昭子 稲葉静子 宇田川三恵

沖田毅 沖田基次 古宮茂雄 櫻井嘉津子 塩野悦代 田代恵美子 辻村豊春 花香洋子 花香千春 東千鶴子 三浦知子 宮地由美子 山田道子 山元真一 佐藤秀之 二宮義雄 山元達好 穴澤光宏 阿部智康 神田恵司 板垣仁一朗 前川征男 前川和範 今村滋 白川貴朗 齊藤均 坂井はるひ 藤城信雄 白井光一

【東京都】榛名孝善坊講社小泉輝人 石大神宮・飯井宮再興祭祀天興大教会小林宗朝 小林昌代 小林晴比古 白鬚神社品川一夫 木下博子 佐藤幸雄 栄珠稻荷神社永井栄子 森田瑞穂 滋賀米原小教会平野希久代 良和神社宮内康 天聖神社磯崎寿三雄 渡部泰治 葵拓夢 赤木瑞彰 井上象英 大塚和彦 齋京則子 寺田悠甫 日向敦子 福谷比砂 弓場祥子 相田佳代 木原桂子 島田栄造 大熊満

昼食を挟み午後一時よりの本殿祭齋行前に、正装に身を包んだ齋主・祭員が手水を済ませ参道に整列。太鼓の合図のもと典儀の発声と共に、楽師の調べに合わせて祓所へ参進し、修祓の儀が行われ一同祓いを受け、齋主以下御本殿へ着床。纒纒典儀の進行のもと齋主一拝、齋主・副齋主により開扉が仕えられ、うず高く盛られた海山川野の神饌十二台が大前に供えられました。次に柳笛に納められた幣帛が供進され、齋主・菊池管長より大祭祝詞が奏上され、御神霊に大なる豊穰感謝と更なる一同への御守護を祈念されました。

続いて国家の繁栄と世の安寧を祈り、浦安の舞が橋村美樹先生・林日奈子局員により奉奏されました。

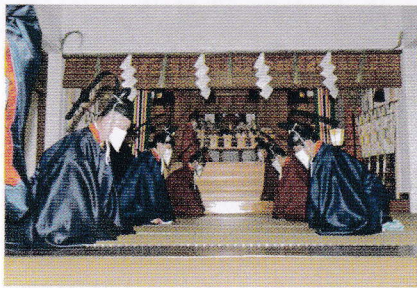
次に、参列者を代表して木曾御嶽川越大教会・伊藤み代先生が感謝の詞を奉読され感謝の誠を捧げられました。

次に、副齋主・長元禮典長を道彦に参列者一同大祓詞並びに四大信條を奉唱し、齋主玉串奉奠に合わせ祭員座後列拝し、引き続き参列者が順次玉串を捧げ、日常の大神の庇護に感謝し永代の御守護を祈念致しました。

続いて撤饌の儀、齋主一拝、管長より三條の教憲が奉読され一同応答、国歌・教歌奉唱を行ない、祭員紹介の後、齋主・祭員が退下されました。引き続き、再び管長がお出ましになられ、参列皆様へ御礼の挨拶を述べられ、御講話をされました。又、四月三十日を以って退職の、林日奈子局員より皆様へ感謝の意が伝えられました。



参進前の祭員



本殿祭献饌の儀



開扉の儀



馬場いさ 南筭町会 榎金剛組

【神奈川県】 八阪青山御祈禱所 井上直幸 井上寿子 井上八城 山神宮勝亦健一 八坂宣教所 成井勇吉 成井朝江 成井康雄 高草木恒雄 高草木鎮代 坂本八千代 池田美恵子 纒纒司 鈴木啓司 永田雅俊 松野昭男 吉田雅弘 島田好子

【山梨県】 吉田仁六

【長野県】 三井雅之

【岐阜県】 眞中神社 眞中教師会 若森正仁 若森正道 若森秀子 若森真澄 林日奈子 北川めぐみ 梶原千代栄 岐阜中学院奥田紀明 岐阜県教師会 金刀比羅神社杉本富子 導徳中教会古市文江 小川千代子 古市享 小川晴人

【静岡県】 荒浪仁一朗

【愛知県】 桃太郎神社 八幡天水宮深谷章男 遠藤貴子 飯田容子

【三重県】 照国講社 森本英明

【滋賀県】 滋賀米原小教会 吉田善實 山田綾乃 高橋良一 八軒真澄 名渡明枝 藤野力ズ子 藤本晴美 山田武彦

【京都府】 大憲天祖神社堤龍一郎

【大阪府】 木山大教会

【兵庫県】 播州白山神社小畑

教子

【奈良県】 うづめ大教会 木村剛正 国親小教会 早川政弘 大神茅原小教会 坂口光三郎 本多恵 岡本忠宣

【高知県】 高知中学院 吉良祝人 吉良羊子 吉良典世 建沼道夫

【福岡県】 扇森稻荷神社 長元祥泰 後藤勇 松崎潤也 石山晴子 寺田勢鶴子 寺田将二 永瀬幸子

【大分県】 尺間嶽中学院 今村文夫 三浦恒良

【宮崎県】 高天原神社 金丸夕力子 金丸和光 加藤和代 藤本陽子 高崎玲子 江崎京子 佐藤静子 森本正一 井上睦子

【鹿児島県】 黒田茂實 高田宮子

御供物御奉納者

【北海道】 函館敬神大教会 工藤隆三 札幌八幡宮 菊池重敏 日天講社 石川澄子 原田貴史 村木牧子

【山形県】 清光院小教会 湯上弘通

【埼玉県】 深田神社 深田佳聖 國井高子 岸和子

【千葉県】 天明道心小教会 宮崎日出男

研修会館前にて、御参拝方々が婦人会による甘酒の接待を受けられ、弥栄殿での直会は御希望者の方のみ参加とし、御参拝の皆様にはお弁当と記念品をお持ち帰り戴きました。大神様の御神威を賜り改めて互いの絆を深める、素晴らしい祭典でした。

この度の春季大祭齋行に際し、連日準備と御奉仕戴きました祭員並びに教師、東京婦人会・次世代委員会各位の多大なる御支援を賜り、更に、全国の教場長・教師の皆様よりの、御神饌や玉串料を御奉納戴き、盛大に春季大祭を齋行出来ました事、感謝申し上げます。



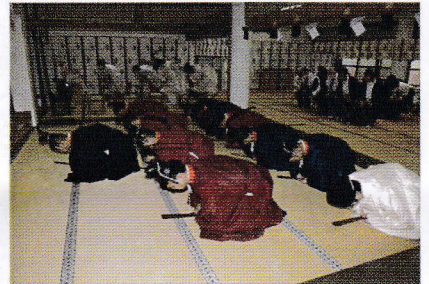
感謝の詞 伊藤み代先生



役員玉串奉奠



齋主玉串奉奠



大祓詞・四大信條奉唱



直会



本殿祭奉仕の祭員一同



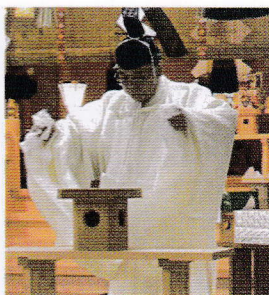
参列者玉串奉奠

- 【東京都】 白鬚神社品川一夫 赤木瑞彰
- 【岐阜県】 眞中神社若森正道 若森真澄
- 導徳中教会古市文江
- 【京都府】 大憲天祖神社堤龍一郎
- 【兵庫県】 播州白山神社小畑教子
- 【奈良県】 岡本忠宣
- 【宮崎県】 藤本陽子
- 【鹿児島県】 高田官子

- 祭典奉仕者(敬称略)
- 齋主・菊池重敏管長
 - 副齋主・長元祥泰禮典長
 - 典儀・額綱司
 - 祭員・堤龍一郎、和田直樹、大熊満、菊池康倫、湯上弘通、八幡悟生、若森治彦、宮内康、岩上直樹、菊池重忠、宮田楽、浦安の舞・橋村美樹、林日奈子
 - 神教歌・森田瑞穂、永井栄子、若森真澄
 - 伶人・雅楽天神会

夏越大祓式齋行

六月二十一日神道大教院月次祭にあわせ午後一時より御本殿にて、厳かな雰囲気の中、夏越大祓の神事が行われました。齋行に先立ち、修祓の儀が行われ、齋主一拝・献饌の儀・祝詞奏上その後、齋主より一同に大祓詞が宣られました。続いて贖物神事において、解縄・八針・切麻・形代神事を執り行ない、知らず知ら



八針神事

ずのうちに犯した罪・穢れを祓い清め、四大信條・きよめ祓の歌を一同で奉唱。副齋主より後祓詞が奏上され、残り半年を無病息災で過ごせる様にと願い、各々玉串の奉奠を行いました。祭典終了後には菊池管長より挨拶がなされ直会にて懇親を深めました。

九星気学入門

気学の発生

気学の母体は易に有ります。その易は、伝説的な中国最古の三皇の一人である伏羲（ふつき）によって始まり、周の文王（ぶんおう）によって成立したと伝えられています。

今から五千年以前の古代中国に伏羲・神農（しんのう）という黄帝（こうてい）と称される帝がいました。黄帝とは、王を尊く価値ある存在として賞賛する称号で、人民に幸せをもたらす不変的な人物を指します。

この時代、中国第二の大河である黄河の流域に文明が発達し、耕作され、盛んに開墾が行われていました。黄帝は、黄河の大洪水を防ぐため治水工事に着手し、その最中に水中から、不思議な姿の馬の遺骸が現れたのです。顔は龍のようで、身体が馬に似ており、これを龍馬（りゅうま）と称しました。

龍馬の背中には、渦を巻いたような旋毛が生えて、い

くつかの斑紋を作っていました。そして、その数を数えてみると、どうも不思議な数を表していたのです。偉大なる伏羲・神農は、この斑紋から易の原理で有る数の配列を霊知と靈感の指導によって読み取りました。これは「河図（かど）」と呼ばれ先天定位の元に成ったと言われています。

神話上の黄帝であった伏羲・神農から時代は下り、今から三千年前、易の成立に関わったとされるのが、実在の黄帝である周朝の始祖・文王です。

文王は一時、殷（いん）の暴君・紂王（ちゆうおう）によって羑里（ゆうり）に幽閉されました。その獄中で周易を書き、後に万民に示したと言われています。この易学と、古代中国思想の土台と成っている陰陽説が結合して、時を知る占いとして体系化されたものが九星気学です。

しかし、日本では昔、気学とは言われていませんでした。明治、大正から昭和の初期に至るまで、ほとんど「九星術」と称され、相性を見たり、方位や家相を見たり、年回りの運氣を見

たりしたのです。

三 碧木星

【基本的性格】

陽気で行動的な性格で、男女を問わず、負けず嫌いで独立心が強いでしょう。勘も鋭く、一を聞いて十を知るタイプです。失敗しても、すぐに思考を切り替え、見事に方向転換できます。情報に敏感で仕事もバリバリこなす、人の世話までも買って出る、まさに現代を生きる能力に恵まれている人と言えます。しかし、優れた長所ほど一転して短所になるもの。短気で怒りっぽく、見栄っぱりで、一見強く見えますが内心は臆病なところが有ります。そのため軽率妄動（けいきよもうどう）に成りがちで、「建前ばかりで本音なし」に成りかねません。

元来は正義感が強く正直な性格ですから、短所を良く自覚し、長所への転換を図りましょう。

【仕事の特徴】
向上心が強く、時代を読む鋭い感覚が有り、頭の切り

替えの早い三碧木星の人は、若いうちから頭角を表す人が多いでしょう。明るい社交性の有る性格と、エネルギーシユな活動力を生かせる職業に就くと、持つて生まれた才能を十分に発揮する事ができます。ただし、才知に走り、独断的で、共同作業が苦手。周囲から浮いた存在に成る事が多いのもこのタイプです。どんな仕事でも自分の立場をわきまえ、謙虚さと協調性を忘れずに。周囲との調和を図りながら、着実に自分の道を進みましょう。

をひきつけ、ラブチャンスにも数多く恵まれます。ただ、飽きっぽく、あまりに率直すぎてデリカシーに欠ける点も有ります。そうした言動が、周囲からは、わがままでマイペースな人と思われがちで、大人の恋は苦手です。物事にこだわらず、包容力の有る相手がい方です。恋愛では子どもっぽい面が有りますが、いざ結婚すると、冷める事の無い保護者の愛情で相手を包み込み、明るくにぎやかな家庭を築きます。女性の場合は、口うるさい妻にならず、甘え上手になる事が、夫婦円満の秘訣です。

【恋愛の特徴】
積極的で好奇心の旺盛な三碧木星生まれの恋愛は、「当って砕ける」のパターン。好きに成ると一途で、恋の駆け引きなど考えず、ストレートにアタックする情熱的なタイプです。はつらつとした魅力が周囲

『知っておきたい幸せになれる九星気学入門』
株式会社 神宮館 発行



著者 歴作家
大教正 井上象英

九州教区研修会開催

梅雨真っ盛りの六月十七日から十九日までの三日間、神道大教九州教師会主催の第十六期第三回目九州教師会研修会が菊池管長先生・長元禮典長・大熊典礼をお迎えし、九州教区庁・扇森稲荷神社にて開催されました。

初日の長元禮典長による基本祭式に於いては、姿勢や所作についての指導、また神道史の座学では、受講生にも理解しやすい内容にて、講義を進めて戴きました。二日目の午前中の宗教学、祭祀概論については大熊典礼が担当され、日本人の身近な宗教のあり方など、数々の事例を交えての話を戴きました。管長講話では、初心者にもわかりやすく丁寧に詩吟を指導して戴きました。基本祭式・総合祭式では、長元

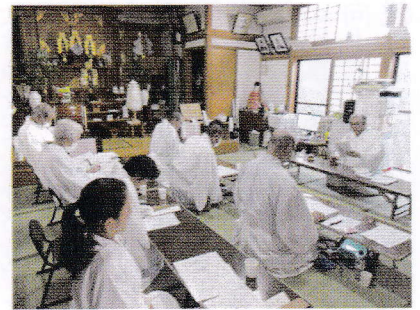
禮典長、大熊典礼が指導にあたり、正しい姿勢・祭式の復習を行い、充実した祭式の研修が行われました。最終日には「九州教師物故者慰霊祭」が受講者全員で行われ、緊張の中にも厳粛に祭典を奉仕する事が出来ました。引き続き行われた閉講式では修了書の授与、菊池管長からの講評を戴きました。

その後、総会と懇親会が会場を移して行われ、コロナ感染に注意しつつも和やかな雰囲気での親睦を深める事が出来ました。

(扇森稲荷神社 松崎潤也)



祭式作法



管長講話



物故者慰霊祭 献饌



講師 受講生 集合写真

夏季研修会の御案内

○参加条件

現職教師及び本教教師・教場後継者として布教活動を志願する方。初任の方は教場長・現職教師(教師取得年限及び実務経験が五年以上)の推薦を得て、検定委員より許可された方に限ります。

○会場 神道大教本局

○日程

【全日過程】

八月二十二日(月)～二十八日(日)まで

【前半過程】現任者のみ

八月二十二日(月)～二十五日(木)まで

【後半過程】現任者のみ

八月二十五日(木)～二十八日(日)まで

○費用

【全日過程】

受講料 七万二千元
宿泊料 二万八千元

【前半・後半過程】

受講料 四万二千元
宿泊料 一万四千元

通いの方は、昼食代が別途かかります。(二千元程度)
※都合により受講を途中で終える場合でも、納入費用の差引の返済金は致しませんので御了承下さい。

○申込方法

受講希望者の方は、**八月十五日(月)までに**、申込書に必要事項を記入の上、送付して下さい。

初任者の方は、履歴書・住民票・証明写真(三五〇mm×四五〇mm)を必ず添付して下さい。

【注】笏及び衣装類につき

ましては、本局での準備した注文はお受け致しませんので、推薦者と御相談の上、各自で御用意下さいませ様、お願い致します。

※尚、研修内容を変更する事もございます。

**暑中御見舞い
申し上げます**

神道大教本局

名誉管長 木村 剛正
管長 菊池 重敏
総監 長元 祥泰

責任役員一同
大会議議員一同
神道大教院 総代一同

うづめ大教会

教会长 木村 剛正
副教会长 木村 孝子

〒六三〇一八三三七
奈良市中筋町一四一
TEL〇七四二一三三二四一九
FAX〇七四二一九三二七三二四

神道大教札幌八幡宮

宮司 菊池重敏

〒〇六一二二六八
北海道北広島市輪厚中央五三二一六
TEL〇一一三三七一三七八
FAX〇一一三三七四一九八
ホームページ
http://sapporoohachiman-gu.com

真中神社

宮司 若森 正仁
名譽 宮司 若森 正道

〒五〇二一〇八五七
岐阜市正木二三六一二
TEL〇五八二三九一三二八〇
FAX〇五八二三九一三二九四

扇森稻荷神社 宮司

長元 祥泰

家内安全・商売繁昌・厄除・八方除・交通安全・病気平癒・結婚式
初宮詣・七五三・子宝成就・安産・子孫繁栄・学業成就・合格祈願
地鎮祭・竣工祭・上棟祭・安全祈願祭・神葬祭・各種祈禱祭
〒822-0034 福岡県直方市山部 448-1
電話・FAX 0949-22-4972

暑中御見舞い申し上げます

神道大教 岡本忠宣

〒六三二一〇〇〇三
奈良市中登美ヶ丘
一〇一九八一七五
TEL〇七四二一四六二五六二

神道大教 出雲太神社

宮司 菊地 元宏
禰宜 菊地 康倫

〒九九〇一〇五二四
山形県寒河江市高松二八〇
TEL〇三三七七八七一〇二八

栄珠稻荷神社

宮司 **森田和子**

〒一五四一〇〇〇五
世田谷区三宿一十四一二十三
TEL〇三三三四一四一五五七五

**暑中御見舞い
申し上げます。**

井上象英

(神道大教 大会議議員)

**暑中御見舞い
申し上げます**

石大神宮・飯井宮
再興祭祀天興大教会
教会长 **小林宗朝**

〒一一四一〇〇三三
北区滝野川五三二二一六
TEL〇三三三九一六一二七六

函館敬神大教会

教会长 **工藤隆三**

〒〇四一〇〇七四
函館市松川町二十二一六
TEL〇一三三八四一七三三五

水心宮

神道大教 滋賀米原小教会
吉田善實

〒五二一〇〇二二
滋賀県米原市米原七〇四
連絡先
TEL〇六一六九一〇一八六五一
自然舎内

天神大教会

教会长 **富田信太郎**

〒三五六一〇〇二八
本じみ野市西原一八一十八
TEL〇四九一六一二八三

三山宮

宮司 **宮田博正**

〒九九七〇二二二
TEL〇二三五六一二二六八
山形県鶴岡市羽黒町手向二二五

暑中御見舞い
申し上げます

高知中教院

院長 吉良祝人
副院長 吉良典世
顧問 吉良羊子

〒七八〇〇〇四三
高知市寿町三六
TEL〇八八八二四二二五五
FAX〇八八八二四七八六七

暑中御見舞い
申し上げます

大会議員

直属 松野昭男
直属 新海研次

〒二三七〇〇七二
神奈川県横須賀市長浦町二一六六

神道大教

大山祇神社

宮司 浦田隆司

〒七一九一二二二
岡山県高梁市川面町一九五八
TEL〇八六六一二六一〇〇五六

暑中御見舞い申し上げます

香取神社
駒形神社

宮司 齊藤均
(大会議員)

〒二七二〇〇〇一
千葉県松戸市幸田二一八三
TEL〇四七三三四一一三九四

高天原神社

宮司 金丸夕カ子

〒八八〇〇八七七
宮崎市宮脇町八四
TEL〇九八五二七二二五七二
FAX〇九八五二八二二〇二二

日笠山八雲大教会

教会長 網干裕仁

〒六七六〇〇八二
兵庫県高砂市曾根町二七一八一
TEL〇七九一四四八二二三二

神道大教

大神祖神社

尺間嶽中教院
天野衆王

〒八七六〇一〇二
大分県佐伯市弥生尺間九四六一
TEL〇九七二一四六一一四二二

清光院小教会

教会長

湯上弘通

〒九九九一三二六三
山形県上山市軽井沢一一一三六

大憲天祖神社

宮司

堤龍一郎

〒六一六一八一八四
京都市右京区太秦中筋町二一十
TEL〇七五八六四二六二二

深田神社

宮司 深田佳聖

〒三四九一〇一四一
埼玉県蓮田市西新宿二一九八
TEL〇四八七六九一五五五三

榛名神社講社

榛名孝善坊

代表役員 柿添政可
責任役員 小泉輝人

〒三七〇一三三四一
群馬県高崎市榛名山町一〇二
〒一七五〇〇九二
東京都板橋区赤塚一一一七

普明神社
苗場明道会

松井苗子
松井興太郎

神道大教

あかつき仙台分教会

代表役員

堀川秀夫
鎌田光彦

**暑中御見舞い
申し上げます**

神道大教
山 神宮
宮司 勝亦健一

神道大教
金刀比羅神社
宮司 杉本富子
〒五〇一―三九一四
岐阜県関市辨物師屋三―三―十三
TEL〇五七五―二一三四八五
FAX〇五七五―二一三四六三

神道大教 韃靼神社
宮司 **小林正昭**
〒二七三―〇一―一三
千葉県鎌ヶ谷市道野辺中央
一―一―十一
TEL〇四七―(四四三) 〇〇六六
FAX〇四七―(四四四) 九四〇三

暑中御見舞い
申し上げます。
神道伊勢月日布教所
大念寺 剛

暑中御見舞い
申し上げます
神道大教
直属 **寺田勢鶴子**
〒八〇三―〇八―一六
福岡県北九州市小倉北区
金田二丁目二―一
TEL〇九三―五八三―六二八三

暑中見舞
直属 **飯田容子**
〒四五三―〇〇―二一
愛知県名古屋市中村区
松原町一―四三―二

暑中御見舞い
申し上げます
直属 **三浦恒良**
〒八七〇―〇九―三六
大分県大分市岩田町一―七―二
TEL〇九〇―八六八―七八三二

株式会社 美術会館
ギヤラリー青 羅(貸画廊)
代表取締役社長
池田美恵子
東京都中央区銀座三―一〇―一九
美術家会館
TEL〇三―三五四―一三四八一代

管長の動向 (対外行事・事務局)

四月 二十二日 責任役員会開催
五月 一日 月首祭

十日 教派神道連合会理事会出席
十三日 神道大教四本木稻荷神社月次祭
十五日 中旬祭
十九日 神道教歌他レコーディング
(アクセスタジオCHETTA)

二十一日 月次祭齋行
職員歓送迎会開催

六月 一日 月首祭

八日 教派神道連合会理事会出席
神道講座
彬子女王殿下昼食会 (國學院大學)
神道講座 (國學院大學)

十日 管長教場訪問
東京都「神道大教白鬚神社」
神道大教四本木稻荷神社月次祭

十一日 九州教区研修会
(扇森稻荷神社)三日間
月次祭・夏越大祓式齋行
會計監査

十三日 金光教教主就任祝賀会 (東天紅)
東京都教派神道連合会理事会・
懇親会 (明治記念館)

十七日 日本宗教連盟評議委員(ZOOM)
月首祭

二十一日 教派神道連合会理事会出席
神道大教四本木稻荷神社月次祭
中旬祭

二十三日 月次祭・中元靈祭齋行

七月 二十八日 月次祭・中元靈祭齋行

三十一日 月次祭・中元靈祭齋行

八月 一日 月次祭・中元靈祭齋行

八月 十三日 月次祭・中元靈祭齋行

八月 十五日 月次祭・中元靈祭齋行

八月 二十一日 月次祭・中元靈祭齋行

第二十二回神道講座國學院大學にて開催
 『三笠宮彬子女王殿下』文化を伝えるということ』

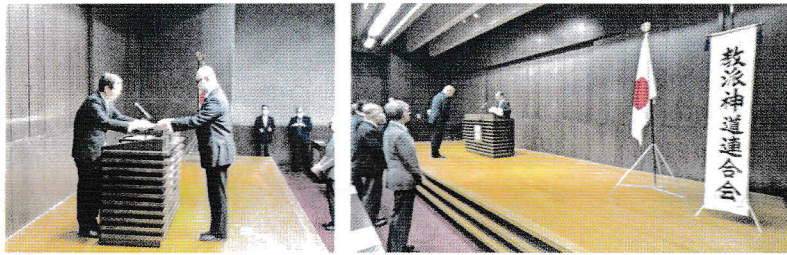
教派神道連合会は、六月九日・十日に國學院大學常盤松ホールで、教派連加盟十二派の教師・信者らの相互交流と資質向上を目的にした、「神道講座」を三年振りに開催しました。

三笠宮彬子女王殿下が最初に「日本の文化の素晴らしさ」と題されて、御自身が総裁を務められる「一般社団法人心游舎(しんゆうしゃ)」の御活動を通して、子供らに文化の継承、伝統技術の大切さを、実体験によって伝えられている事や、「伝統は残すものでは無く、残るもの」「伝統を守ると言う事は百年後を残す事」等の内容のお話しを分かり易く御講義戴きました。

「神道の祭祀と日本人の死生観」をテーマに、國學院大學茂木貞純名誉教授、石井研士、藤本頼生両教授又、

東北大学佐藤弘夫教授他講師によって七講義が開かれ、参加者は、日本人の死生観や神道の葬儀祭祀について学びました。

参加者は、各教団毎に國學院大學針本正行学長より修了證が授与されました。



各教団代表者に修了證授与

受講者感想文

教派神道連合会主催『神道の祭祀と日本人の死生観』神道講座に参加させて頂き、これまでの経験から改めて感じた事がいくつかありました。

私は、五歳の時から母の自転車の後ろに乗り、四歳年上の兄と二人で空手道に精進を続け、今年で四十年目になります。私も兄も今もお、稽古と子供達の指導に精進させて頂き、私の人生は空手道と家族と出会った多くの人々と共に生き、学び、生かされ、支えられ助けられてきたのは間違いないありません。

今に思い返せば、空手道が私たちが兄弟のよりどころでありました。

その空手道との人生において、たくさんの別れがありました。その中でも二つ

の大きな大切な人との別れがありました。

一つ目は、二十三歳の時に五歳から共に空手道を精進していた同級生との別れでした。私にとって彼は、兄弟のように育った家族であり同志でライバルでもありました。私が空手の稽古中に彼は交通事故に遭い亡くなりました。本当につらい日々が続きましたが、彼が私に最後に伝え残してくれたのは「笑顔」でした。今もなお、彼との十八年間の空手道の思い出は私の人生の基本となっていると思います。

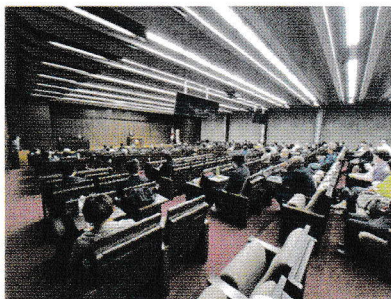
二つ目は、八年前に母を交通事故で亡くしました。私は、ある時から亡くなる日まで、ほぼ毎日、田舎の母に電話していました。これは、私の空手の師匠からの指導を受けての行動でした。

母を亡くした後、その日々の電話の大切さに気付くこ

とが出来た時、衝撃を受けました。私と兄を空手道に導き、続けさせてくれた母が私に最後に残してくれたことは、「人を許す心」でした。母はいつも、誰より苦しみ悲しむ私に夢の中で言いました。「私の人生は幸せでした」

空手道を続けてこられたことにより、今では、神道にまでもお導き戴き、たくさんの御指導に感謝しております。これからも、神社、神様、先生方、空手道、生徒の子供達と共に、精進させて頂くことを誇りに思い、あらためて幸せに気付かされる神道講座でした。

(良和神社 宮内康)



講演会場 閉講式

令和四年度第一期第三回 松戸市教師研修会の御案内

○参加条件

本教教師・教場後継者として布教を志願する方。(教師補命希望の方は、通算三回の受講する必要がございません)

○会場

千葉県松戸市幸田二の五九

香取駒形神社内・集会所

○日程

九月二十六日(月)

～二十八日(水)まで

○費用

受講料 三万円

(その他、昼食代実費負担・宿泊施設は各自御準備下さい)

※都合により受講を途中で終える場合でも、納入費用の差引返金は致しませんので、予め御了承下さい。

○申込方法

受講希望者の方は、九月九日(金)までに、申込書に必要事項を記入の上送付して下さい。

【注】

筋及び衣装類につきましては、準備また注文はお受け出来ませんので、各自御用意下さいませ願ひ致します。

○お問い合わせ先

〒一〇六・〇〇三二

港区西麻布四丁目九番二号

神道大教本局

電話〇三・三四〇七・〇五二四

※状況により、受講人数の制限をする場合がございます。

宗教法人解散公告

宗教法人「神道大教高良中教会」は、令和四年一月十日開催の責任役員会の議決により解散する事になりましたので、この事について異議のある方は、令和四年三月二十日までに、意見を申し述べて下さい。

宗教法人法第四十四条第二項の規定により広告します。

令和四年一月二十日

信者その他利害関係人各位

住所 大阪府東大阪市大平寺一丁目三番地

宗教法人「神道大教高良中教会」

代表役員 吉村 秀昭

宗教法人解散公告

宗教法人「神道大教天聖神社」は、令和四年

五月二十二日開催の責任役員会の議決により解散する事になりましたので、この事について異議のある方は、令和四年八月八日までに、意見を申し述べて下さい。

宗教法人法第四十四条第二項の規定により広告します。

令和四年六月一日

信者その他利害関係人各位

住所 東京都西多摩郡奥多摩町氷川九一八番地

宗教法人「神道大教天聖神社」

代表役員 齊藤 實

局員退職挨拶

林 日奈子

神道大教で約三年巫女として勤めさせて頂きました。

私が勤める中で印象に残っている事は、やはりコロナウイルスの影響です。令和二年の四月、緊急事態宣言が発令し不要不急の外出が制限され、春季大祭を局員だけで斎行する事になりました。奉仕の先生や参拝者の方々が参加されない祭典は、今写真を見ても寂しい気持ちになります。ですが、日頃から神道大教院の大神様に心をお寄せ戴いている皆さまのお気持ちと、コロナウイルスが早く終息し生活が戻ります様にと心を込めて浦安の舞を奉納させて頂きました。

神道大教の歴史の中で様々な出来事があったと思います。コロナウイルスの影響はいい出来事とは言えませんが、大教の大神様のお側でお使いする事ができた経験は私の人生の中で大きな財産となりました。

最後になりますが、お世話になりました先生、信徒の皆様ありがとうございました。今後は教師として皆様と一緒に活動し神明奉仕に励んで参りたいと思います。お祭や本局でお会いしましたら、宜しくお願ひ致します。

菊池管長の教場訪問

神道大教 白鬚神社

東京都文京区湯島二一七八に鎮座する、宗教法人「神道大教白鬚神社」に菊池管長が教場訪問をしました。

白鬚神社は、初代宮司齋藤カツ先生が神様より靈感を授かり、御縁のある方々を教え導く中、次第にその御蔭が伝え広がって、大勢の信者が神社に集まり、信仰が広がりました。神様がカツ先生に乗り移り、神がかりに教え導く姿を、当時小学生であった、現在



品川権宮司御夫妻と共に

の権宮司品川一夫先生が実体験として生々しく記憶に残されています。

その頃から、神様の存在を信じ、今日の信仰に培われています。

初代カツ先生が、昭和五十年に七十二歳で亡くなられ、御主人の齋藤幸太先生が跡を継がれ、昭和六十二年に亡くなられるまで二代目宮司を務められました。

その後、御息女の品川幸子先生が三代目宮司を継がれ、信者の教化に務められました。

平成十二年に現在のビルを建てられ、一階を神殿として、御祭神の神道大教院の御分霊並びに素戔嗚命・



花姫稲荷

ビル全体

白鬚神を祀られています。又、ビル横の敷地内に祠を建て、品川家のゆかりの神として「花姫稲荷神」を祭祀されています。

品川幸子先生が、令和三年五月三十日に御逝去されてより、御息の権宮司品川一夫先生が代務者として神社を受け継がれています。

品川一夫先生は、平成四年に神道大教の教師と成られました。

現在は、大手企業の役員として務められています。三代に亘る宮司の後ろ姿を勉強され、神道の造詣も深められています。

今年の夏季研修会には、奥様と共に研修を受けられ、



花姫稲荷

宮司としての資格習得に努められます。

本教の由緒ある白鬚神社の後継者として、更には神道大教発展の為、益々の御活躍を期待しています。

教内異動

【辞令】

- 神道大教本局 局員 菊池重忠 (令和四年四月二十一日付)
- 宣教部長 中教正 堤龍一郎 (令和四年五月一日付)
- 主事 少教正 菊池重忠 (令和四年六月十九日付)

【教師補命】

- 補 少教正 東京・菊池重忠 (令和四年六月十九日付)

【教師昇級】

- 補 権中講義 岐阜・真中神社(属) 林日奈子 (令和四年五月一日付)

【退職】

- 局員 林日奈子 (令和四年四月三十日付)

【帰幽報告】

次の先生の帰幽の報に接し生前の御奉仕、御活躍を称え、謹んで哀悼の意を表します。

- 令和三年十一月十二日帰幽 島根・芦谷講社(長) 権訓導 田中勇師 (敬称略)

